

日本発ドイツ便り ~ Oktoberfest とビール

今年のドイツの夏は冷夏に終わり、9月に入って、いっそう秋らしくもう10度を切る日もあるようです。秋分の日で、公式に秋の始まりですが、日本はまだ暑いですね。

そしてこの週末、9月22日(土)の12:00にミュンヘンでは、今年も、市長さんの"O'zapft is!"の掛け声とともにビールの樽が開けられ、世界のビールファンのお祭り「Oktoberfest(オクトーバーフェスト)」が始まりましたよ！なんでも「ビール日和」のいい天気だったそうです。

気になる今年のビールの値段は、公式サイト(<http://www.oktoberfest.de/>)によれば、史上最高となる7.3~7.9ユーロ(昨年実績6.93~7.3ユーロ)。今世界的にユーロが強いので、外国人には高すぎる！世界で一番高いビールじゃないか！と始まる前には騒いでいましたが…。ちなみに、量は1リットル(Maß: マースと読みます。ドイツ南部やオーストリアではビール1リットルの意味。ビールのみを使う単位です。)日本円だと一杯1150~1330円くらいのイメージですかね？ちなみにノンアルコールのビールというのもあるって、値段はビールと同じです。(美味しいんだろうか？)今年のお祭りは、10月7日の23:30の"Aus is!"の掛け声まで続きます。

同様に、1リットルのミネラルウォーターが6.18ユーロ、お子様用には、Spezi(シュペーツィという、レモネードとコーラを混ぜたのみもの)1リットルが7.19ユーロ、レモネード1リットルが6.71ユーロだそうです。注目すべきはビールとその他のソフトドリンクの値段がほとんど変わらないということでしょうか？なんでもかんでも1リットルです。

いったことない私には、どんなお祭りなのか興味津々なのですが、ミュンヘン付近に住んでいる友人いわく「飲んだくれ+酔っぱらいばっかで、そんな良いもんじゃない」とのことですが…。でもやっぱり一度は見てみたいですねえ。なんでも昨年度のOktoberfest期間2週間の観光客数が630万人！たいしたもんです。

日本とは違って、「酔っ払った姿を人に見せるのはタブー」のドイツで、このOktoberfestとか、カーニバルというのは、思いっきり酔っ払える+朝から飲んでいても誰にも文句を言われぬ、という貴重な時期なんですよね。(期間中、平日は10:00から、土日は9:00からビールが飲めます。)あと、このOktoberfestの時期に飲むビールはこの時期のために作られたOktoberfestbier: オクトーバーフェストビアというもので、この時期以外は飲めない特別なものです。

Oktoberfest というと、ビールばかりが脚光を浴びることになりますが、もちろんビールだけ飲むわけではなく、一緒に食べる食べ物も見逃せません！バイエルン名物Brezel(プレーツェルというパン)をはじめ、鳥の丸焼き、子豚の丸焼きなどなど、豪快なものが多いです。

昨年実績のデータでは、期間中の消費されたビール61,100リットル、鳥の丸焼き494,135ピース、豚のソーセージ(2本一組)144,635だそうです。これだけ見ても規模が分るってもんです。

来年以降の Oktoberfest の日程です。

2008年:9月20日~10月5日

2009年:9月19日~10月4日

2010年:9月18日~10月3日

2011年:9月17日~10月3日

だそうです。計画される場合はどうぞお早めに！

で、今回書きたかったことは、Oktoberfestではなかったのですが、同じビールつながりで、日本とドイツの「ビール」の位置づけの違いを少し。

日本に来たことがある + 日本に住んだことのあるドイツ人(といっても、私の知り合いベースなので、そう多くないですが)に聞き取り調査をしたところ、不思議に思う + びっくりする習慣の上位にくるのが日本の贈答文化。ドイツでは、「お誕生日」や「クリスマス」等で、個人的に親しい人にプレゼンとする以外に物を贈る、という習慣があまりないので、不思議に思うようです。その中で一番びっくりするのが「ビール」が化粧箱かなんかに入れられて、プレゼント商品として売られていること。だそうです。

ドイツでビールといえば、生活必需品というか、高級品ではないし、間違っても人にプレゼントするようなものではないのです。ちょっとお呼ばれのときに、手土産としてもっていくのも、さすがにビールじゃ失礼でしょう？ということでワイン。という感じの飲み物です。どうも不思議なことに、ビールは「お酒」の中にカウントされないこともあるのです。(お酒というともっとアルコール度数の高いものを指す場合があります。たとえばワイン以上とか...)

もちろん、日本とドイツのビールの歴史を考えると、ドイツではもう500年以上の歴史があって、しかも一度も高級品であったことがない。という事実からすればごく当たり前なのでしょうけどね。あと同様に、日本人が、だれも「ビール」より「発泡酒」のほうが美味しいと思っていないのに、(恐らく)値段だけの理由で、「発泡酒」を選ぶのか？またなぜビールメーカーがどんどん「発泡酒」を開発するのかよくわからん。という素朴な疑問もありました。これはどうしてなのか？皆さんのご意見も聞いてみたいところですね。

なんか最初の意図に反して、ビールの話になってしまいましたが、まあ良いでしょう。

では、今日はドイツビールで乾杯かな？

Prost!(プロースト! :ドイツ語の「乾杯」です。)